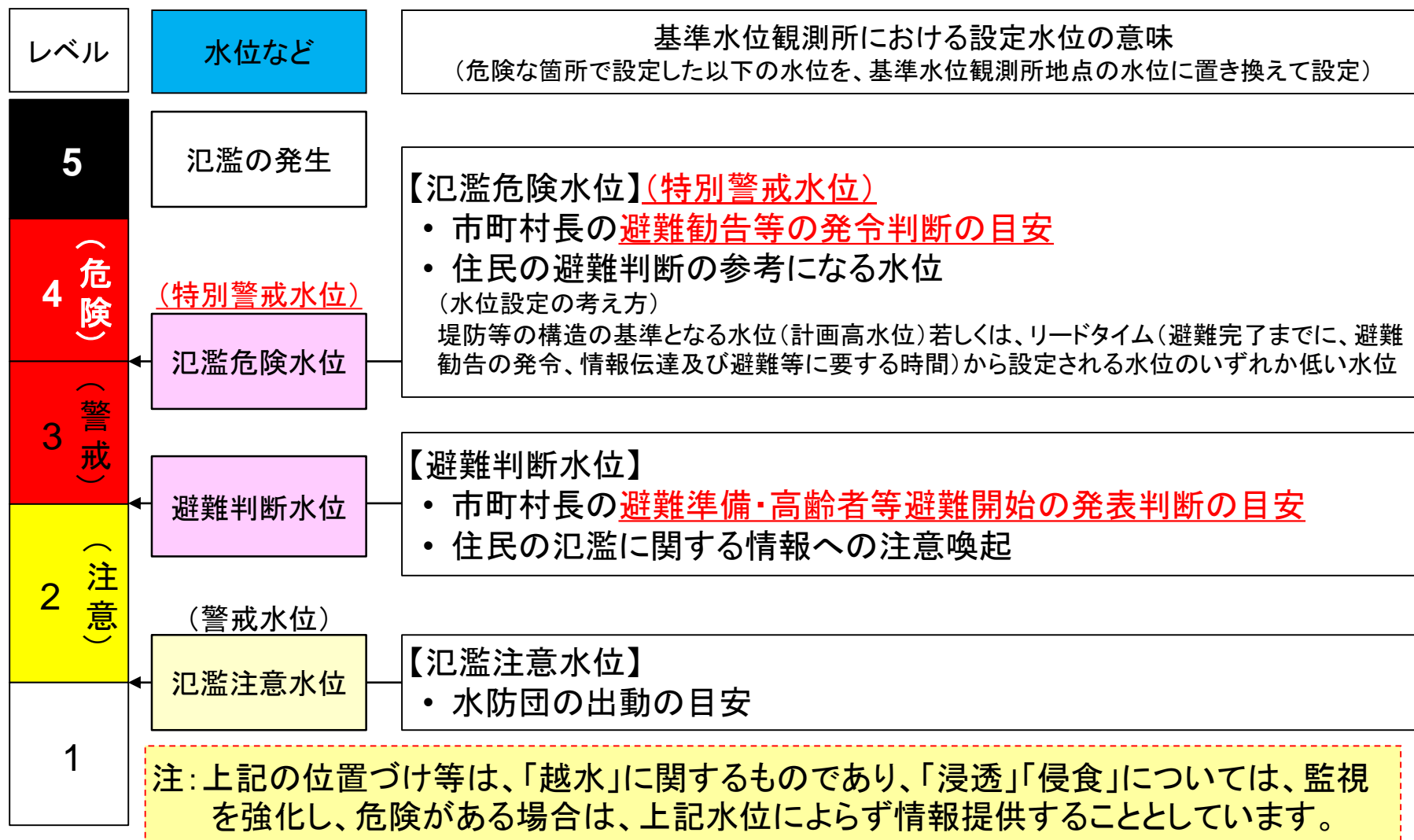


(2) 洪水時の情報提供

(2)洪水時の情報提供～①基準水位観測所における設定水位の意味～

- 国や都道府県では、洪水時において、予め定められた水位観測所における水位の情報を提供しています。この予め定められた水位観測所を「**基準水位観測所**」といいます。
- **基準水位観測所**毎に、災害発生の危険度に応じた**基準水位**が設定されております。



(2)洪水時の情報提供～②基準水位観測所の意味(区間代表性)～

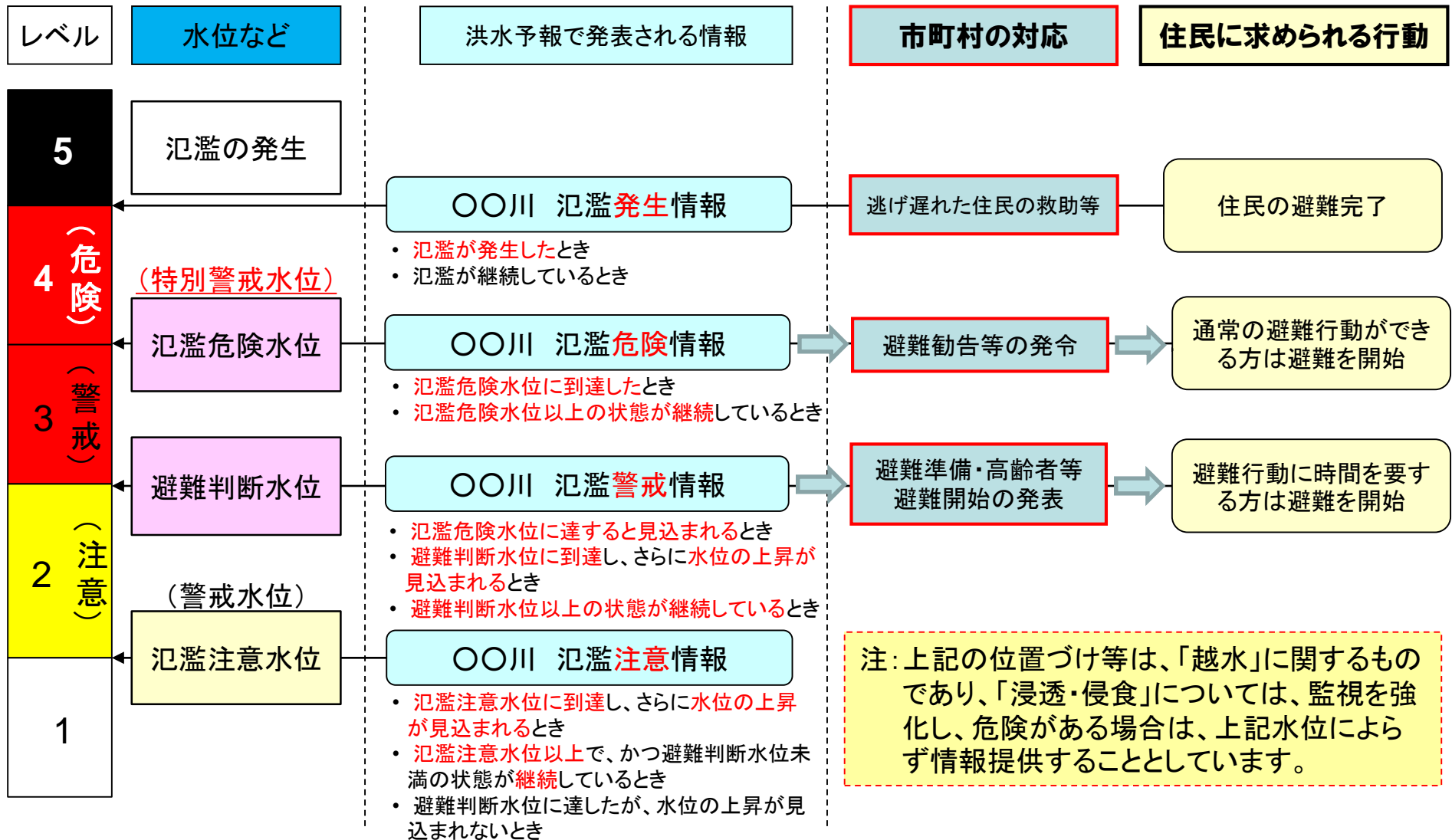
- 各基準水位観測所にはそれぞれ**受け持ち区間**があります。
- 基準水位観測所の水位は、受け持ち区間内の**堤防の低い地点**で決まっていますので、水位の情報は、観測所地点の情報(点の情報)ではなく、**受け持ち区間の情報(線の情報)として見る必要があります。**

氾濫危険水位は、基準水位観測所の受け持ち区間毎に堤防の低い箇所で決められています。



(2)洪水時の情報提供～③水位情報と住民に求められる行動～

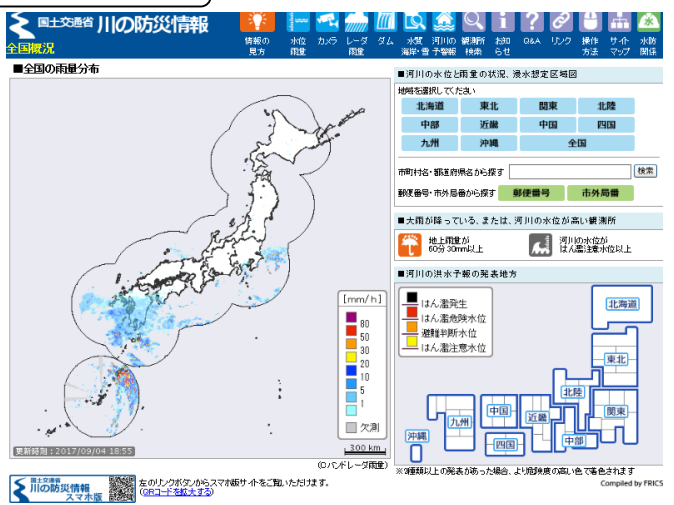
- 洪水予報河川では、洪水の予報を行っており、発表する情報としては、「氾濫注意情報」、「氾濫警戒情報」、「氾濫危険情報」、「氾濫発生情報」の4つがあります。
- 一方、水位周知河川では、基準水位に到達した旨の情報が発表されます。



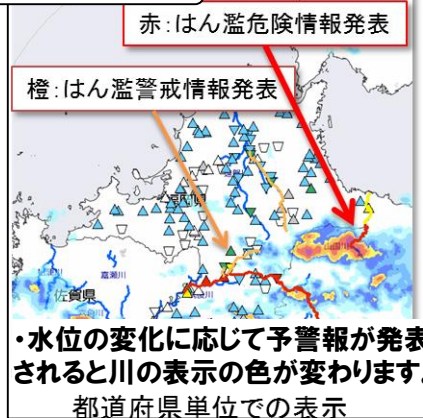
(2)洪水時の情報提供 ~④「川の防災情報」サイトのご紹介~

○「川の防災情報」サイト(パソコン、携帯電話)で、洪水予報等の情報を入手することができます。

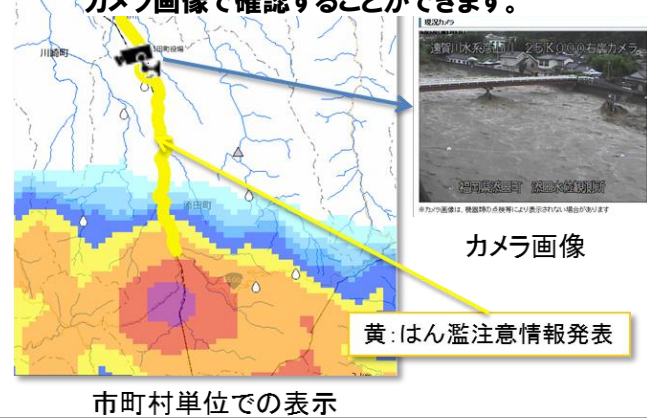
トップ画面



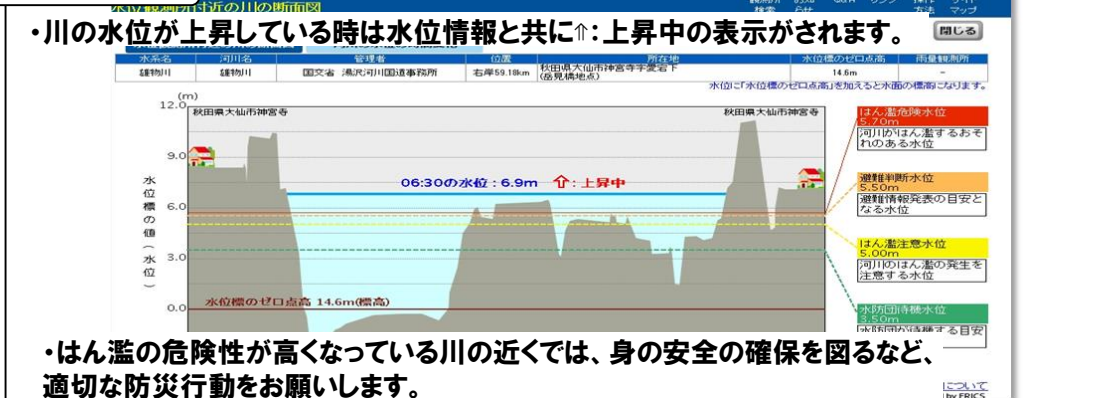
洪水予報等



・カメラのアイコンをクリックすると、現在の川の状況をカメラ画像で確認することができます。

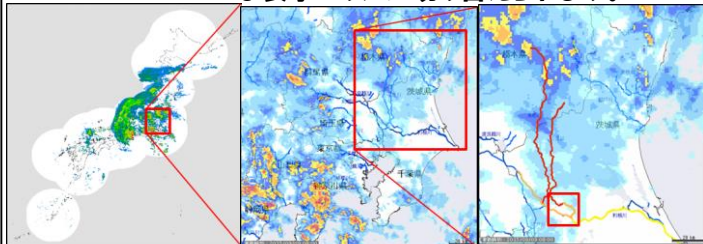


水位情報



レーダ雨量

・全国、地方、都道府県、市町村と必要な表示エリアに切り替えられます。



全国 地方 都道府県
・同じエリアで川の水位や雨の現況の図と、洪水の浸水想定区域図を切り替えて表示できます。



<川の防災情報>

パソコンから <http://www.river.go.jp/>

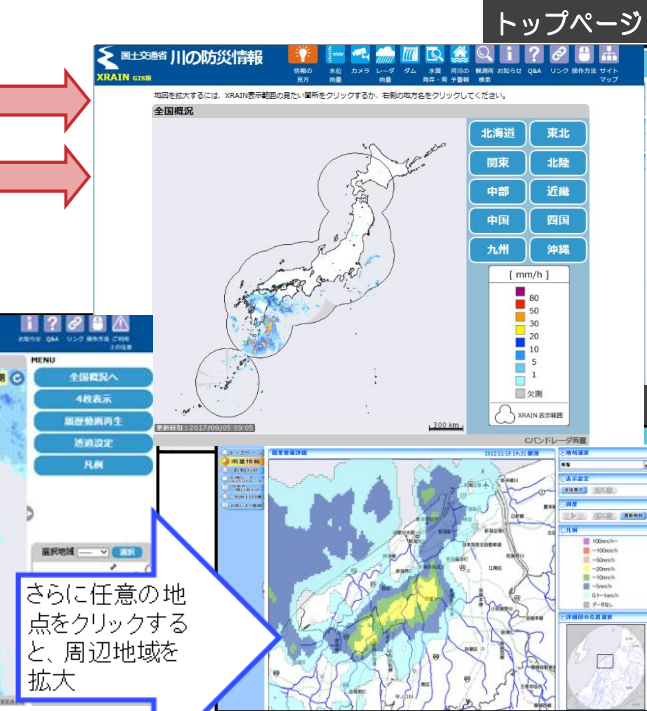
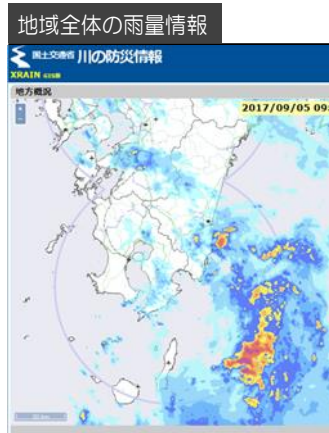
スマートフォンから <http://www.river.go.jp/s/>

(2)洪水時の情報提供 ~⑤XRAIN(国土交通省XバンドMPLレーダ)のご紹介~

○ 平成28年7月より、高精度・高分解能(250mメッシュ)・高頻度(配信間隔1分)で、ほぼリアルタイムのレーダ雨量情報(XRAIN:エックスレイン)の配信エリアを全国※に順次拡大しています。

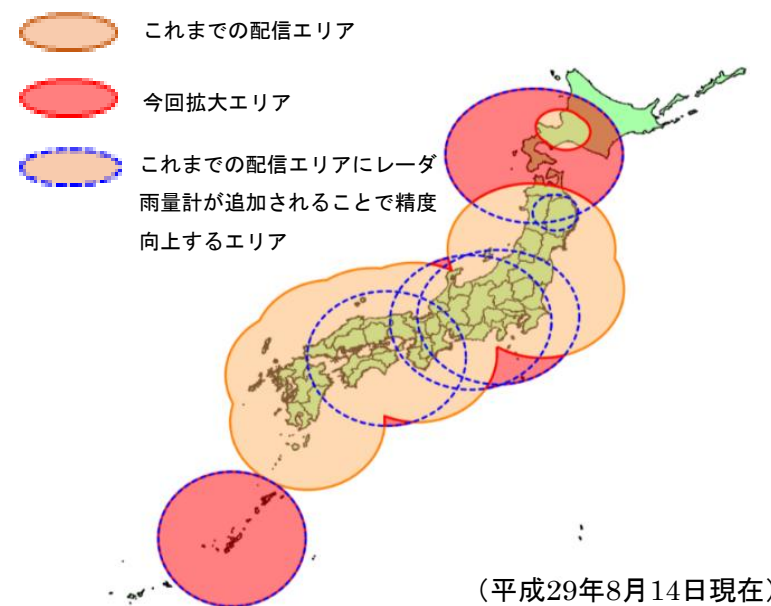
直接入力
<http://www.river.go.jp/x/>

または XRAIN で**検索!**



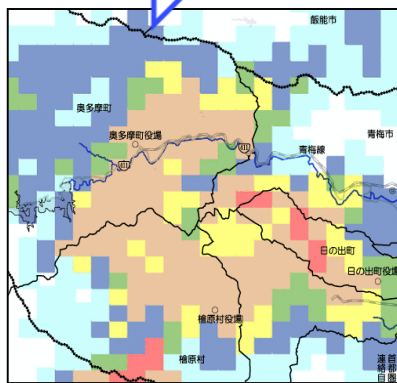
さらに任意の地点をクリックすると、周辺地域を拡大

<XRAINの配信エリア>

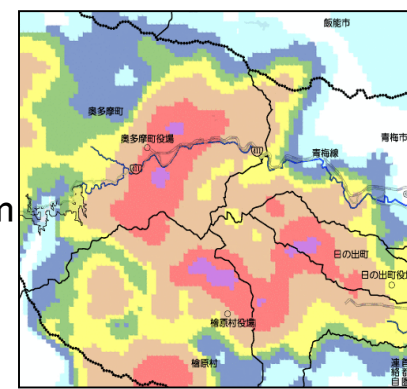


<XRAINの特徴>

【Cバンドレーダ】
 空間解像度:1km
 配信間隔:5分



【XRAIN】
 空間解像度:250m
 配信間隔:1分



高分解能・高頻度で、ほぼリアルタイムな雨量情報を提供します

(2)洪水時の情報提供 ～⑥「地デジによる河川情報の提供」のご紹介～

- 地上デジタルテレビのデータ放送で河川情報(雨量・水位)を入手することができます。
- NHK、民放含め全国49放送局の協力により、全都道府県において提供されています。

NHKの放送例(画面はイメージ) 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の場合

<雨量情報>



<河川水位情報>



- 雨量観測所を地図上の円で位置を表示
- 雨量は強さに応じて5段階の色で表示



リモコンのdボタンでデータ放送画面を表示し、上下ボタンで画面の切り替え操作を行います。



- 基準水位を超えた観測所を表示
- ラベルの色は、水位レベルに応じて色分けして表示



- 過去時刻の水位に対しての増減の状況を矢印で表示

- リモコンの上下ボタンで、それぞれの基準水位を超えた観測所のリストの表示を切り替え可能

- リモコンの上下ボタンで東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の情報切り替え可能

国管理河川68水系で運用実施（平成29年7月時点）

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、携帯電話事業者が提供する緊急速報メールを活用した洪水情報※¹のプッシュ型配信※²を平成28年9月から2河川（鬼怒川、肱川）で運用開始しており、平成29年7月時点で**配信対象を国管理河川68水系で運用しております**。なお、配信エリアについては、今後順次拡大していきます。

1 配信対象

国管理河川68水系412市町村（平成29年7月時点）

2 対象者

配信対象内の携帯電話等（NTTドコモ、KDDI・沖縄セルラー、ソフトバンク（ワイモバイル含む））のユーザーを対象

3 配信する情報

配信対象河川において、**河川氾濫のおそれがある（氾濫危険水位に到達した）**情報及び**河川氾濫が発生した情報**を配信



河川氾濫のおそれ
 ○○川の○○（○○市○○）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。
 防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
 本通知は、○○地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。

（国土交通省）

＜配信文案＞

※¹ 洪水情報とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報（レベル4）及び氾濫発生情報（レベル5）の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。

※² プッシュ型配信とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。